

多様な職業観 進路参考に



三戸高で「ワールドカフェ」

三戸

三戸町の三戸高校（直町）で4月23日、地域で活躍している人たちの話を聞いた「地域の大人と語るワールドカフェ」が開かれた。ゲスト8人が現在の仕事のやりがいや人生経験を語り、生徒たちはさまざまな職業観や地域とのつながりの深さなどを学びながら、今後の進路について考えた。（藤田幸雄）

同校の総合的な探究の時間「三戸みらいキャンパス」の一環として、同校魅力化コーディネーターの村田修子さんが企画・運営した。同町や田子町などから7組8人のゲストが講師を務め、2、3年生約50人と対話した。

生徒たちは話を聞いたゲストを3人ずつ選び、教室を移動しながらそれぞれ約15分ずつ語り合った。三戸町で創業170年以上の歴史を持つ松宗菓子店の5代目・松尾宗樹さんは「ものづくりの話を聞く三戸高校生たち」

地域の大人と語り合い

くりが好きて、大学卒業後に三戸に戻ってきた」と語り、人気の和菓子「11びきのねこたち」を求めて全国から訪れるお客様の反応に触れながら、「こんなに喜んでくれる人がいると思うと、この仕事をやって良かったなと感じる」と強調した。

また、同町で訪問介護などに取り組む介護士・梅館利沙さんは「趣味は楽しいことを妄想すること、夢をかなえたい人のサポートをしたい」と熱い思いを語った。同校3年の上田和奈さんは「話を聞いた3人に共通するのは、好きなことを職業にしていることだった。これからもいろいろな人の人生について聞いてみたいと思った」と感想を述べた。